

5 商品手持額

商品手持額は2,813億円で前回と比べ334億円減少(10.6%)しました。そのうち、卸売業の商品手持額は982億円で平成14年調査に比べ54億円減少(5.2%)し、小売業は1,831億円で280億円減少(13.3%)となりました。

(1) 業種別

卸売業では、飲食料品卸売業が255億円で最も多く卸売商品手持額の25.9%を占め、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業(構成比25.2%)、機械器具卸売業(同24.6%)の順となりました。

前回と比べると、2業種で増加していますが、残りの4業種では減少となり、増減実数では機械器具卸売業、増減率では各種商品卸売業が最も減少しました。

小売業では、その他の小売業が742億円で最も多く小売商品手持額の40.5%を占め、次いで織物・衣服・身の回り品小売業(構成比15.7%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業(同12.7%)の順となりました。

前回と比べると、自動車・自転車小売業が増加しましたが、残りの5業種は減少し、増減実数では飲食料品小売業が、増減率でも飲食料品小売業が最も減少しました。

(表12、図17・18)

(2) 商品回転率

年間商品販売額を商品手持額で除した商品回転率をみると、合計では14.0回と平成14年調査に比べ1.8回増加しました。

これを卸売・小売業別にみると卸売業は20.4回で0.8回増加し、小売業は10.6回で2.1回増加しました。

業種別にみると、**卸売業**では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が24.4回と最も多く、次いで飲食料品卸売業、機械器具卸売業となっています。

小売業では飲食料品小売業が26.9回と最も多く、次いで自動車・自転車小売業、各種商品小売業となっています。(表12)

図 1 7 業種別商品手持額（卸売業）

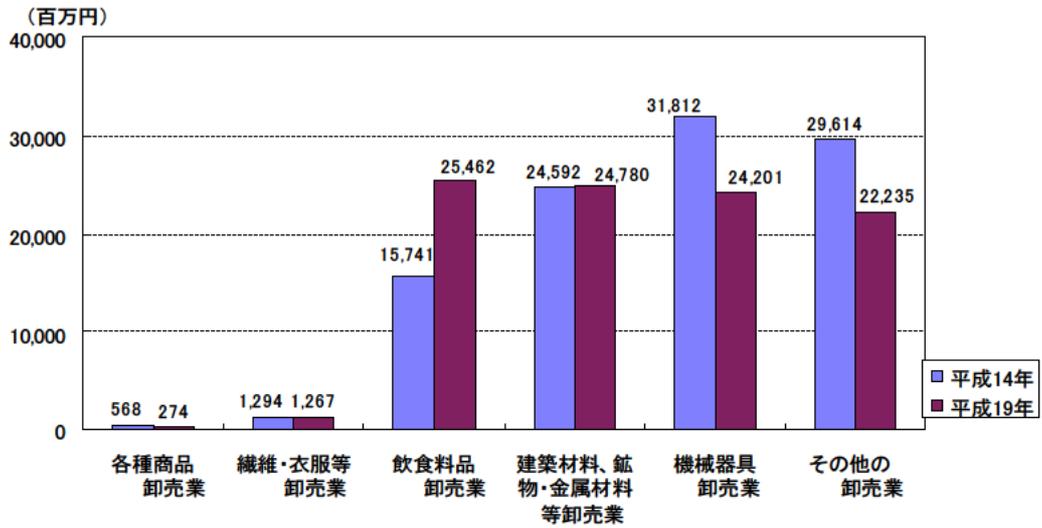


図 1 8 業種別商品手持額（小売業）

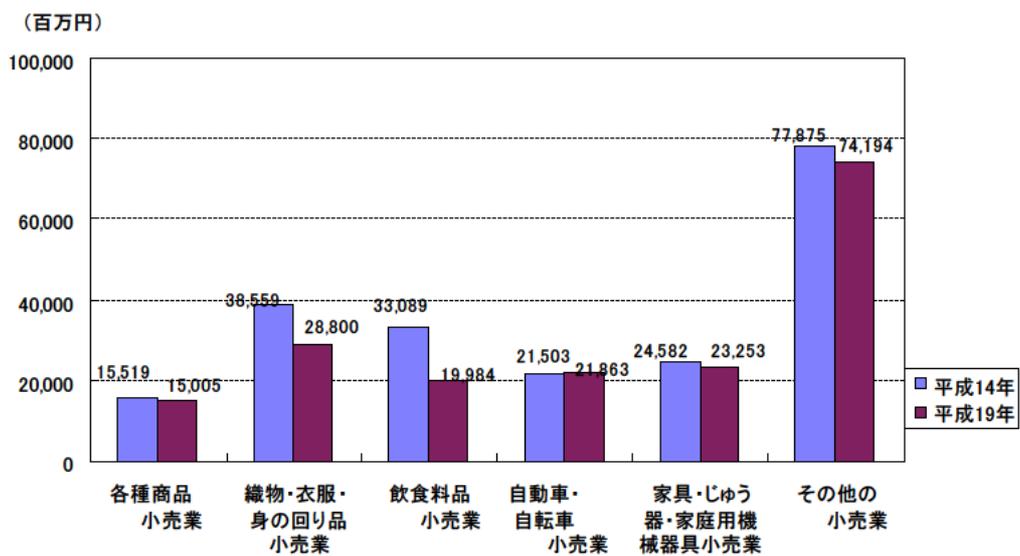


表 1 2 業種別商品手持額

	平成14年		平成19年				商品回転率 (回)	
	商品手持額(百万円)	構成比(%)	商品手持額(百万円)	構成比(%)	増減率(%) (19年/14年)	増減実数(百万円) (19年-14年)	平成14年	平成19年
合計	314,748	-	281,318	-	10.6	33,430	12.2	14.0
卸売業	103,621	100	98,219	100	5.2	5,402	19.6	20.4
49 各種商品卸売業	568	0.5	274	0.3	51.8	294	8.1	8.2
50 繊維・衣服等卸売業	1,294	1.2	1,267	1.3	2.1	27	7.0	9.0
51 飲食料品卸売業	15,741	15.2	25,462	25.9	61.8	9,721	39.6	21.8
52 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	24,592	23.7	24,780	25.2	0.8	188	19.2	24.4
53 機械器具卸売業	31,812	30.7	24,201	24.6	23.9	7,611	16.7	20.8
54 その他の卸売業	29,614	28.6	22,235	22.6	24.9	7,379	13.3	14.9
小売業	211,127	100	183,099	100	13.3	28,028	8.5	10.6
55 各種商品小売業	15,519	7.4	15,005	8.2	3.3	514	13.1	11.7
56 織物・衣服・身の回り品小売業	38,559	18.3	28,800	15.7	25.3	9,759	3.8	4.9
57 飲食料品小売業	33,089	15.7	19,984	10.9	39.6	13,105	14.4	26.9
58 自動車・自転車小売業	21,503	10.2	21,863	11.9	1.7	360	12.2	13.7
59 家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	24,582	11.6	23,253	12.7	5.4	1,329	5.9	6.3
60 その他の小売業	77,875	36.9	74,194	40.5	4.7	3,681	7.2	8.6

(商品回転率 = 年間商品販売額 / 商品手持額)